

## 令和元年度 第5回理事会議事録

下記日程で開催予定であったが、COVID-19感染拡大防止のため集合会議は行わず、メールにて資料配信・質疑・検討を行い、理事会開催に代えることとする

◇日時：令和2年4月10日—19時

◇場所：(一社)宮城県臨床検査技師会事務所

◇日時：令和2年5月14日報告事項・審議事項資料配信、メールにて質問・審議を実施し、5月20日期限で各自意見を回答。5月22日決議案メール配信→5月28日全理事・監事の「決議案に同意の意思」をメールにて確認し、宮臨技定款第40条に基づき、理事会の決議があったものとみなす。

◇メール審議参加者：藤巻、大柳、渡辺、鈴木（里）、佐藤、高橋、小塚、阿部、菅原、播磨、高崎、今野、及川、小野寺、鈴木（宏）、金沢、武田各理事、大森監事、丸勢監事

◇議長：藤巻 慎一

◇書記：鈴木 里香

### 1. 前回議事録の確認

前回議事録を確認し、全員の承認を得た。

### 2. 理事行動

藤巻会長：日時 2020年3月27日 19:30-21:00

場所 宮城県行政庁舎2階 講堂

用務 新型コロナウイルスに関する対策会議

### 3. 審議事項

【会長】 藤巻 慎一

- 令和2年度（一社）宮城県臨床検査技師会定期総会の開催について

新型コロナウイルス感染拡大による緊急非常事態宣言の延長により、6月6日

(土) 開催予定の総会は参加規模を縮小し、参加者は委任状による議決権行使を積極的に利用して頂くことで開催したい。今回は定款改正があり、かつ、役員改選がありますので、総会を成立する必要がある。基本的に現理事と新理事候補の出席はできる範囲で求めたい。

入場者はマスク使用、出入口に手指消毒液、三密に注意して開催したい。

日臨技および他県技師会でも同様な運用で開催するようである。ただし、日臨技生涯教育の基礎点の扱いについては日臨技から問い合わせ中であるが、現時点で回答はない。(5月2日現在)

追記：5/11 日臨技より回答→総会に関しては日臨技ならびに都道府県技師会も生涯教育制度ガイドラインどおりに基礎点を付与した行事登録をおこない、当日参加の自粛を強くお願いし、新旧理事等の最少人数で開催する等の工夫し、参加者には点数を付与している(すること)。

→ 審議の結果、上記提案を承認した。

**【副会長】 大柳 政一**

#### 1) 理事会を web 会議形式で実施する

理由：今月に入り宮城県内の感染者数は減っているが、また第2波、第3波と感染者が増加する可能性があり、専門家は今年の冬にかけてまたパンデミックが起きる可能性があると言っている。今後の理事会は skype 等で web 会議を実施してはどうか。

→ 審議の結果、上記提案は次期理事会で検討することとなった

#### 2) 総会の実施について

総会を実施し実際に感染者が出てしまった場合のことを考えるとリスクが高いと考える。総会は委任状により成立するので、今回特例として会長から従来の総会ができない旨の主旨を会員に向けたビデオメッセージを配信して会員の理解を求めているかどうか。

(6月の北日本支部一般検査研修会は延期になっている)

→ 審議の結果、法人法上会員総会の現地開催は必須なこと、議案書を全会員に配布していること、メッセージ動画配信の負担を鑑み、総会は現地参加を最小限にして実施しビデオメッセージは配信しないことを決議した

**【学術部】 小堺 利恵**

#### ● 学術部門の部門員の任期や定数などについて

各部門長の意見を参考に、学術部にて協議し、内容をまとめた。

→ 承認

#### ● 学術部研修会の再開時期について

日臨技では認定試験関連は今年度中止、愛知県は9月末、東京都は6月末と今年度

の運用を公開している都道府県もある。今後の新型コロナの終息状況にもよるが、終息して即研修会を再開することは準備など含め困難である。理事会として、今後の方向性を検討して頂きたい。

→ A案：総会終了後（6月以降）、B案：秋以降（9月以降）、C案：今年度は中止（日臨技eラーニングを強くお勧め（アピール）する）、D案：その他の中から選択式で審議した。現在の状況を鑑み、現時点で再開時期の決定は困難であるため、次期の宮臨技理事会で検討継続することとなった。

- Web研修会の導入について

実際のコロナ感染者数については現在、様々な情報が錯綜しているが、コロナ陽性登録者より多くの感染者が存在していると考えられていることは、どの情報も同様である。研修会の開催方式について選択肢としてWebを用いた動画配信などを進めるか、理事会として検討して頂きたい。

A案：現時点で検討せず、感染対策を実施した上で従来型の研修会を基本とする。B案：積極的に検討し、当面はWeb研修会を基本とする。

C案：従来方式での開催を基本とするが、Web研修会も検討する

D案：その他

→ 審議の結果、web研修会に関しては研修会環境（ツール含）の整備や生涯教育の生涯教育点数の対象の問題があり、今後、日臨技の動向やeラーニングの活用法も含めて次期の宮臨技理事会で検討継続することとなった。

- 従来方式の研修会をする場合の感染対策について

コロナウイルスの蔓延している現状、従来方式の研修会を開催する場合、感染対策の徹底が必要となる。理事会として感染対策の内容について検討して頂きたい。

対策内容：1.発熱または体調不良時の参加の自粛、2.出入口に手指消毒設備、3.マスクの着用義務、4.参加者の一定間隔（距離）の確保、5.事前申し込みによる完全予約制、6.窓を開けて、研修会を行い、密閉を避ける、7.研修会終了後に、机イスなど参加者が触れた箇所の消毒を行う、8.健康チェック（問診票など）の可否を検討

→審議の結果、従来方式の研修会をする場合の感染対策については、再開時に社会状況に応じて検討することとなった。

#### 【精度管理部】 播磨 晋太郎

- 令和2年度精度管理調査について審議要請があったが、会員定時総会における令和2年度事業計画決議の結果と今後の新型コロナウイルス感染症の状況に応じて次期理事会で検討することとなった

## 4. 報告事項

### 【会長】 藤巻 慎一

- 役員推薦委員会から推薦された役員候補について  
令和元年度宮臨技役員推薦委員会より理事候補 18 名、監事候補 2 名を推薦して頂いた

### 【事務局】 鈴木 里香

- 新型コロナウイルス感染症に関する情報周知（宮臨技 HP 掲載・一斉メール）
- 議案書発送作業（経費削減のため、事務所からメール便で発送）
- 古い PC の廃棄（一部未処理）、個人情報ありの文書廃棄（溶解委託）
- 総会議長：前川善太郎会員に内諾を得ている
- 総会書記・議事録署名人 2 名：通常、理事施設の若手に依頼しているが、COVID-19 感染拡大防止の観点で、新理事候補者の中から（現役員を除く）2 名ずつ選出
- 令和 2 年 5 月 29 日日現在 会員数 1,117 名

### 【総務部】 高橋 拓史

- 総会議案書の印刷が終了しました。  
ご協力ありがとうございました。

### 【学術部】 小堺 利恵

（前回決定事項の進捗報告）

- 学術部新規約（第 4 版）を 5 月中に部門長に配信予定

（今回報告事項）

- 生理検査における新型コロナウイルス感染症対策の現状調査を実施  
各施設連絡責任者宛に一斉メール送信及び定期便、HP 掲載  
以下、回答数  
心電図 56  
肺機能 47  
超音波 45  
脳波 19  
受付業務・待合・リネンの取り扱い等 38

2020年5月7日が締め切りであった。集計し、回答施設にフィードバックを近日中に実施予定。また、東北医科薬科大学 賀来先生に集計結果の確認をお願いする予定である。

【会計部】 今野 かおり

- 4/10(金)会計監査が終了しました。決算書、予算書につきましては総会議案書にてご確認ください。
- 鈴木事務局長から提案のあった事務所の大場さんの休暇を有給の特別休暇とし、厚生労働省へ助成金を申請  
(鈴木追記：新型コロナウイルス感染症による 小学校休業等対応助成金はパート勤務も対象となるため、三役と会計で検討し4月～6月の学校休業等に伴う休暇や時短勤務を申請予定→ 報告事項とする)

【公益事業部】 小野寺 佳子

- 例年6月に実施している「エイズ検査普及週間」に係る HIV・梅毒迅速検査会について、宮城県開催分は新型コロナウイルス感染症対応状況を鑑み中止となった。仙台市へ問い合わせし、6月の検査会中止を確認した。

今期理事の次回理事会は予定なし。6/6 総会前（13時予定）に現役員での打ち合わせと総会終了後に新役員との引継ぎを予定。令和2・3年度の理事・監事で令和2年度第1回理事会を開催する。

一般社団法人 宮城県臨床検査技師会

会長：藤巻 慎一

監事：大森 智子

監事：丸勢 共子